

科目名	文化交流特殊研究	担当者	アラキ 荒木 マサズミ 正 純	期間	通年	単位数	4
-----	----------	-----	--------------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	<p>従来の比較文学や比較文化研究は、影響関係を中心に研究してきたが、こうした姿勢には高低や優劣などの発想的枠組みがあり、ポスト・コロニアルな状況においては不適切である。この授業は、そうした枠を捨て、ある特定の時代・空間で生産された文学や文化現象が、時・空間的に＜移動＞（トランスレーション）することでどのように＜変容＞（トランスフォーム）し、特定の時・空間でいかなる貢献をなしたかを追求する。具体的には、英米文学作品が、明治・大正期日本や植民地時代の韓国でどのように現象したかを追求する。</p>		
到達目標	<p>単に英語の事象に日本語の確立した訳を対応させることができるだけでなく、その訳語がどのように選択されたかを調査し、訳語にまつわる知的情報のアーカイヴをつきとめること。 たとえば、英語 orangoutang は、今日、「オランウータン」とカタカナ標記されるが、最初は、そうではなかった。「山童」「山男」「野人」「林人」、そして流通した「猩々」であった。こうした訳語の選択の背景を調べ上げる。</p>		
学修方法	<p>履修者が、各自の問題を明確にして、その調査方法などを随時報告し、教員側からの指導を受けてレポートの完成に向う。</p>		
スケジュール	<p>履修者が、各自の事情にあわせて、年間スケジュールをたて、教員に報告し了承をうける。</p>		
成績評価	種 別	割合	評価基準
	レポート	80%	
	平常評価	20%	
履修者への要望	<p>レポートは、完成されたものを提出するだけでなく、作成過程で数回現状報告をして欲しい。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 柳父章 教材名： 『翻訳語成立事情』（岩波書店，1982年）ISBN:978-4-00-420189-2 740円+税
	英語‘love’などが，どのようにして日本語「愛」になったかの成立事情を明らかにしたもの。
参考図書	荒木正純「芥川・『少年世界』・キップリング：または，明治・大正期の＜猩々＞と＜養育院＞の文化史」（筑波大学近代文学研究会編『メディアと文学：明治から大正へ』所収）（筑波大学近代文学研究会，2001年） <b>*これは市販されていないので，受講者にはコピーを配布する。</b>
	荒木正純「芥川・『少年世界』・「えらい人」：明治期の偉人・英雄・修身言説と「鼻」」（筑波大学文化批評研究会編）『＜翻訳＞の圏域：文化・植民地・アイデンティティ』所収（筑波大学近代文学研究会，2004年） <b>*これは市販されていないので，受講者にはコピーを配布する。</b> 荒木正純『芥川龍之介と腸詰め』（悠書館，2008年）ISBN:978-4-90-348714-4 2,500円+税 荒木正純『表象からみる「羅生門」』（悠書館，2010年）
履修上のポイント	英語の具体的な語が，辞書でどのような訳語をうけ，それが実際に明治・大正期の文学や他のテキストで実現しているかを調査し報告する。その際，その語の概念，もしくは使用法がどのように異なったものとなっているかを考察する。教材や参考図書を参考にして，類似の調査研究をして欲しい。
レポート課題 1	抽象的な語よりも，むしろ現実的な物を指示する語を選んで，その語の受容について可能な限りの調査によって報告すること。たとえば，‘apple’や‘bicycle’など。
レポート課題 2	「レポート課題（1）」と類似の調査研究し，レポートを提出すること。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 岩尾龍太郎 教材名： 『ロビンソン変形譚小史』（みすず書房，2000年）ISBN:978-4-62-205051-3 2,200円+税
	イギリスの作家ダニエル・デフォーの『ロビンソン・クルーソー』（1719年）は，数々の翻訳・模倣・簡略化・改造の改作を生んできた。その＜移動＞（トランスレーション）を西欧文化圏で現代まで跡づけたものである。
参考図書	荒木正純「翻訳，このグロテスクなもの」（筑波大学文化批評研究会編，2000年） <b>*これは市販されていないので，受講者にはコピーを配布する。</b>
履修上のポイント	作品の＜移動＞だけでなく，そこに含まれる文化的価値の＜移動＞現象に着目する。
レポート課題 1	教材や参考図書をモデルとして，類似の調査研究を報告すること。
レポート課題 2	「レポート課題（1）」と類似の調査研究をし，レポートを提出すること。